

平成19年就業構造基本調査結果の概要

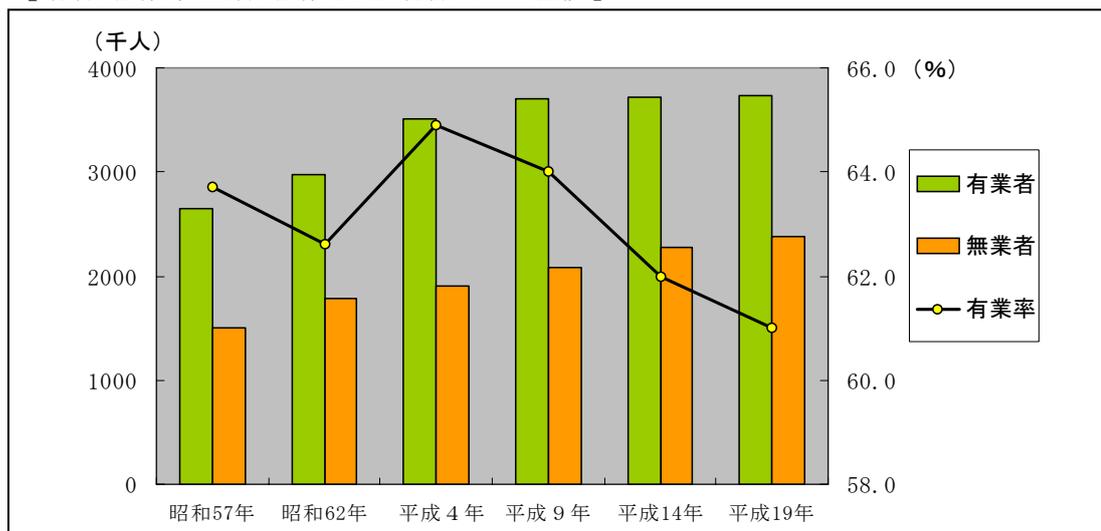
調査結果のポイント

- 有業者数は、前回調査（平成14年）より16,800人増加しているものの、有業率では1.0ポイント下降し、61.0%となっている。
- 有業率は、男女とも全国平均を上回っている。
（男性：全国順位9位、女性：全国順位22位）
しかし、年齢階層別では、男性では20～24歳が6.9ポイント（全国順位45位）、女性では30～34歳が4.6ポイント（全国順位43位）、全国平均を大きく下回っている。
- 雇用されている者の「正規の職員・従業員」の割合は59.3%であり、前回調査に比較すると、3.0ポイント下降している。
一方、「パート・アルバイト」の割合は24.9%と、前回調査に比較すると、1.0ポイント上昇している。

1 就業状態

- 有業者数は3,728,300人、無業者は2,379,500人であり、前回調査（平成14年）に比較して、それぞれ16,800人、107,900人増加している。
- 有業率は61.0%（全国第13位）であり、1.2ポイント全国平均を上回っているが、前回調査に比較して1.0ポイント下降している。

【有業者数、無業者数及び有業率の推移】



2 有業率

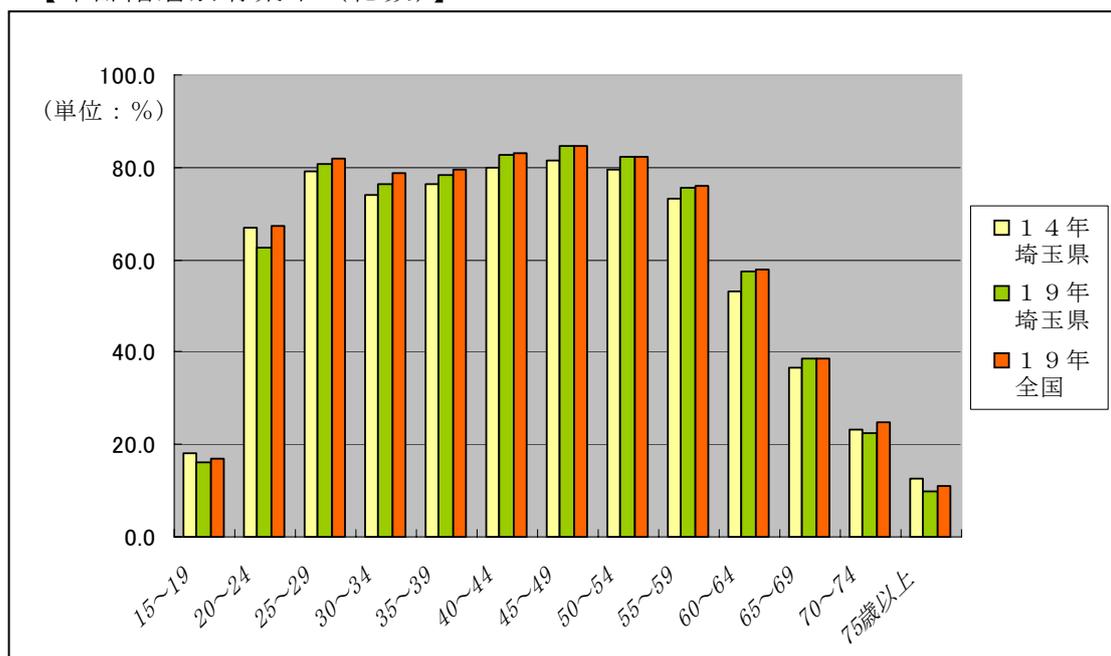
- 有業率は、男性73.0%、女性49.0%であり、男女とも全国平均を上回っている。（男性：全国順位9位、女性：全国順位22位）

また、前回調査と比較すると、男性は2.1ポイント下降（全国平均は0.4ポイント下降）し、女性は0.2ポイント上昇（全国平均は0.9ポイント上昇）している。

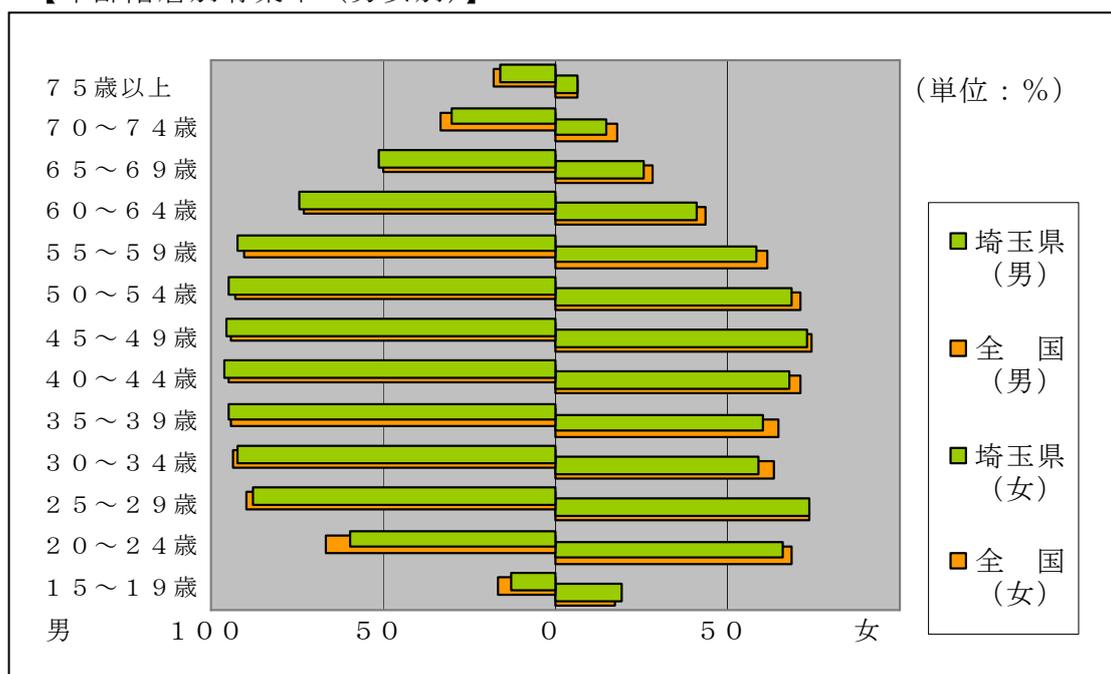
- 年齢階層別では、60～64歳が4.5ポイント上昇しているものの、20～24歳は4.4ポイント下降している。

また、さらに男女別で比較すると、男性では20～24歳が6.9ポイント（59.5%：全国順位45位）、女性では30～34歳が4.6ポイント（58.9%：全国順位43位）、全国平均を大きく下回っている。

【年齢階層別有業率（総数）】



【年齢階層別有業率（男女別）】



3 有業者の構成割合

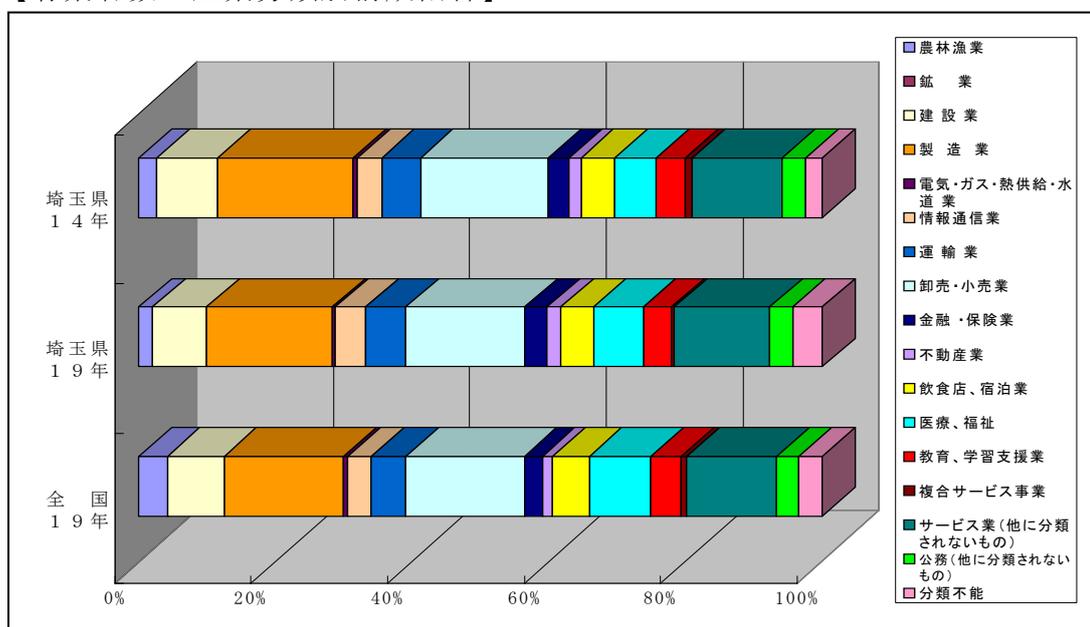
- 産業分類別による構成割合は、前回調査と比較すると、製造業が18.5%と1.4ポイント、卸売・小売業が17.5%と1.2ポイント下降している。

また、一方で、医療、福祉が7.3%と1.3ポイント、情報通信業が4.5%と0.9ポイント上昇している。

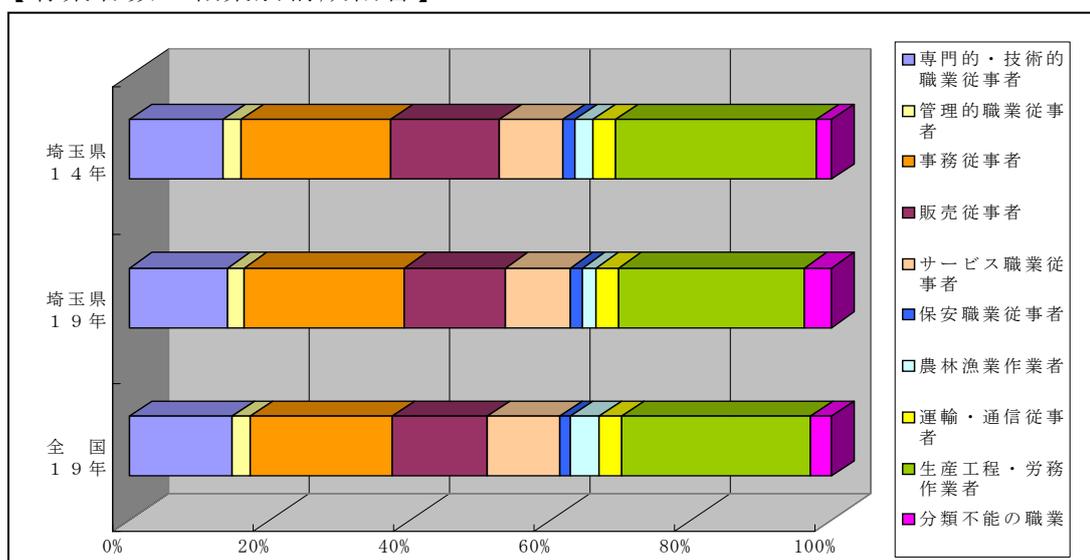
- 職業別による構成割合は、前回調査と比較すると、生産工程・労務作業者が26.5%と2.0ポイント、販売従事者が14.5%と1.0ポイント下降している。

また、一方で、事務従事者が22.7%と1.5ポイント、専門的・技術的職業従事者が14.0%と0.7ポイント上昇している。

【有業者数の産業分類別構成割合】



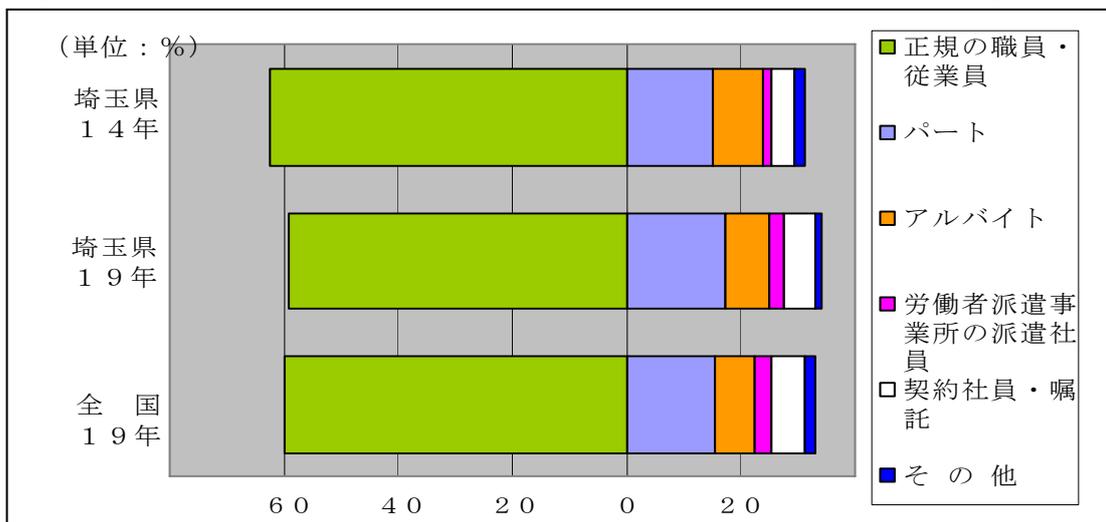
【有業者数の職業別構成割合】



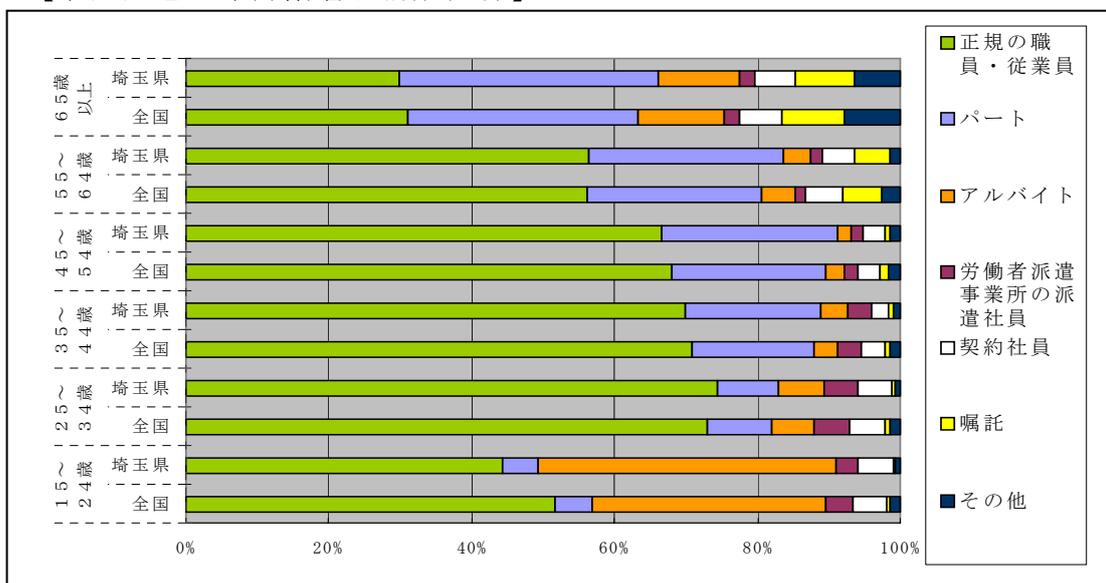
4 雇用形態

- 雇用されている者の「正規の職員・従業員」の割合は59.3%であり、前回調査に比較すると3.0ポイント下降（全国平均は3.2ポイント下降）している。男女別では、男性73.1%（全国順位31位）、女性39.3%（全国順位45位）である。
- 「パート・アルバイト」の割合は24.9%と、前回調査に比較すると1.0ポイント上昇（全国平均は0.6ポイント上昇）している。男女別では、男性9.9%（全国順位5位）、女性46.9%（全国順位1位）である。
- 年齢階層別の構成割合では、25～34歳及び55～64歳を除き、各年齢階層で「正規の職員・従業員」が全国平均を下回っている。
特に、15～24歳未満では、44.3%と7.3ポイント全国平均を下回っている（全国順位45位）。

【雇用されている者における正規の職員・従業員、パート等の割合】



【雇用形態の年齢階層別構成割合】



5 過去1年以内の就業異動

○ 過去1年以内の就業異動では、前回調査と比較すると、就業が継続している者の割合は53.0%と0.4ポイント下降（全国平均は52.3%と0.1ポイント上昇）している。

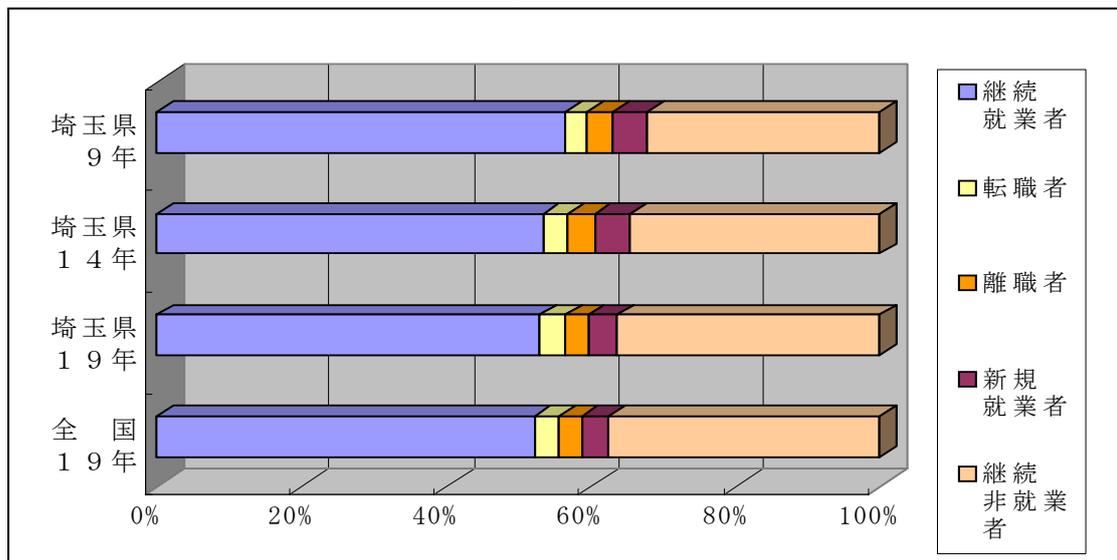
一方、非就業が継続している者の割合は36.3%と1.8ポイント上昇（全国平均は37.5%と0.6ポイント上昇）している。

○ 年齢階層別の構成割合では、65歳以上を除く全ての年齢階層において、継続的に就業する者の割合は全国平均より低くなっている。

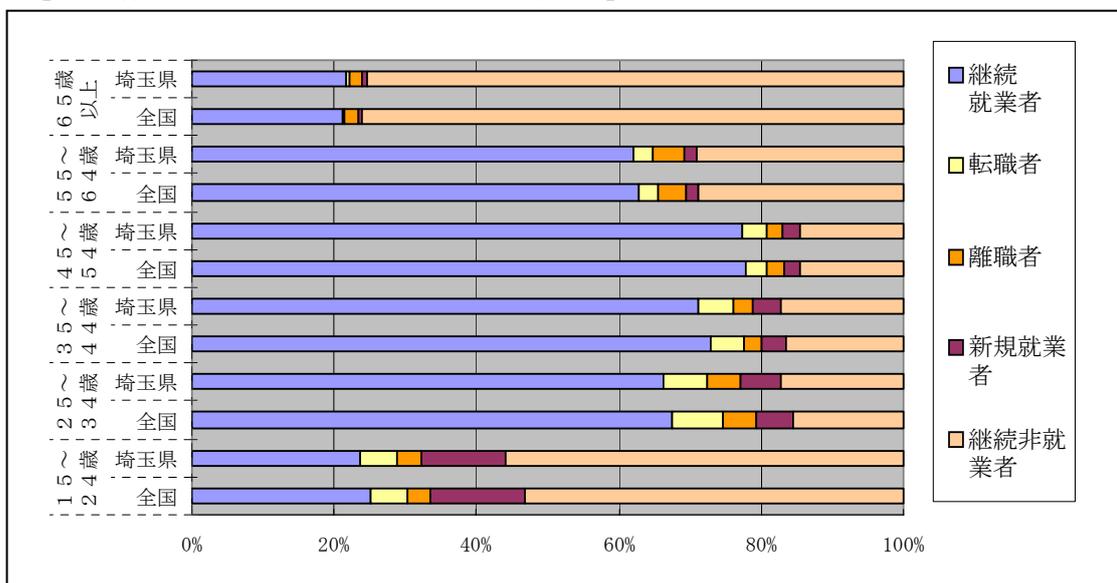
特に、15～24歳ではその割合が23.7%（全国順位38位）と、1.5ポイント全国平均を下回っている。

○ 45～54歳及び65歳以上を除く全ての年齢階層において、離職した者の割合は全国平均より高くなっている。

【過去1年以内の就業異動の推移】



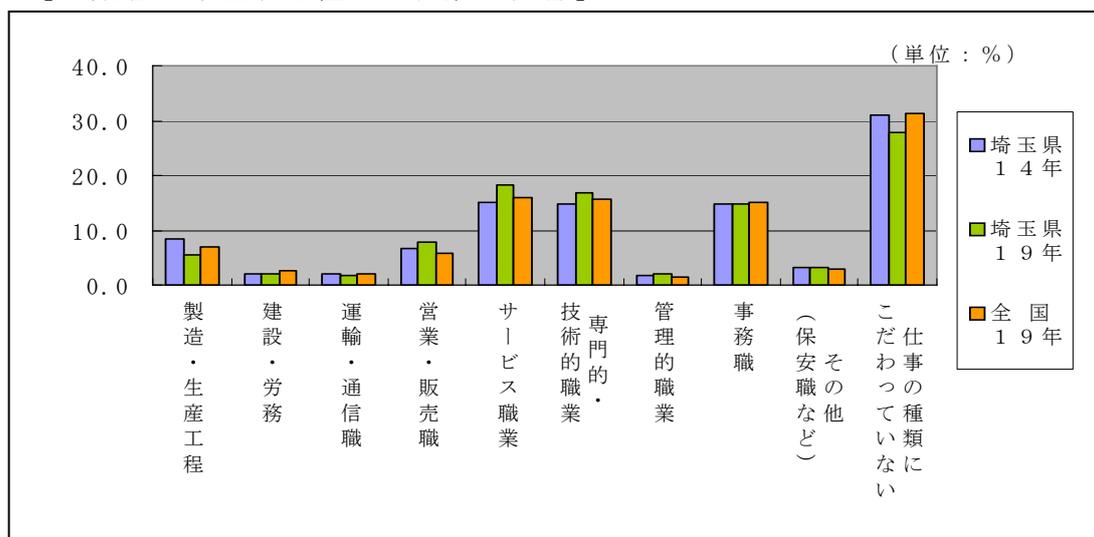
【年齢階層別の過去1年以内の就業異動】



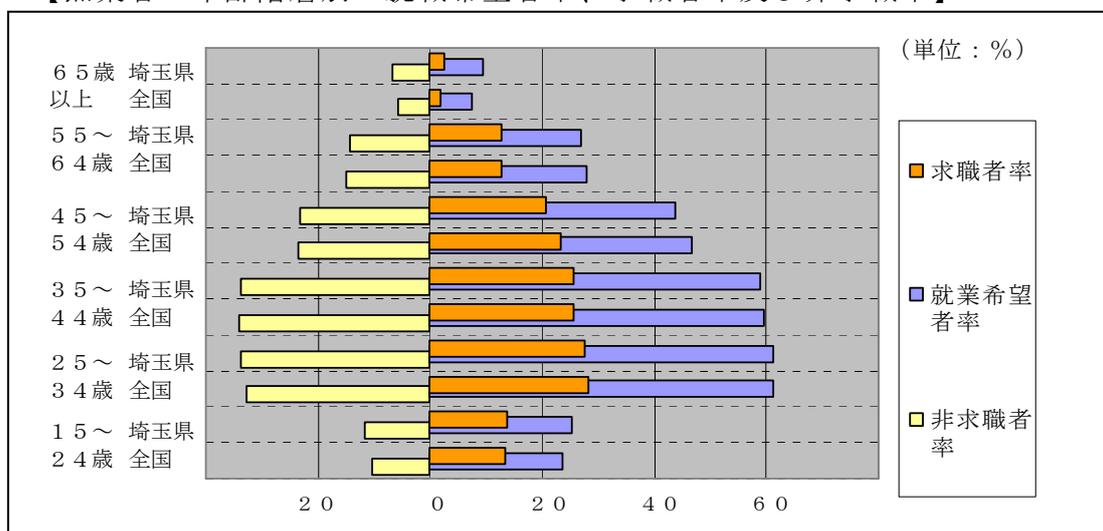
6 無業者の就業希望

- 無業者が希望する仕事の種類では、「仕事の種類にこだわっていない」（27.8%）が最も多く、次いで「サービス職業」（18.2%）、「専門的・技術的職業」（16.8%）の順となっている。
- 前回調査との比較では、「専門的・技術的職業」が2.0ポイント上昇（全国平均は0.7ポイント上昇）し、「仕事の種類にこだわっていない」が3.3ポイント下降（全国平均は1.2ポイント下降）している。
- 就業希望者率（26.3%）、求職者率（11.7%）及び非求職者率（14.6%）とも全国平均より高くなっている。（全て全国順位5位）。
- 15～24歳及び65歳以上の年齢階層で、就業希望者率及び求職者率とも0.5ポイント以上全国平均を上回っている。
しかし、45～54歳では、就業希望者率及び求職者率は、それぞれ2.4ポイント以上全国平均を下回っている。

【無業者が希望する仕事の種類別割合】



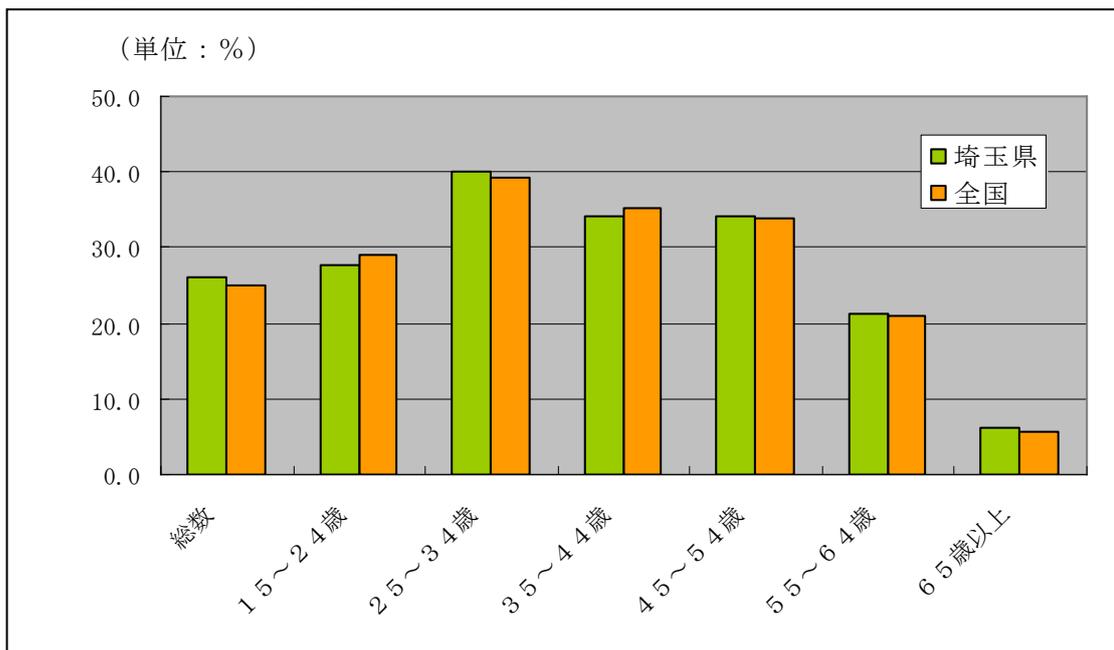
【無業者の年齢階層別の就職希望者率、求職者率及び非求職率】



7 職業訓練・自己啓発

- 職業訓練・自己啓発を行った者の割合は26.1%（全国順位8位）で、1.0ポイント全国平均を上回っている。
- 年齢階層別では、15～24歳及び35～44歳を除き、全ての年齢階層で全国平均より高くなっている。
- 職業訓練・自己啓発を受けた状況では、「勤め先での研修」（55.0%）が最も多く、次いで、「勉強会・研修会への参加」（31.0%）、「講習会・セミナーの傍聴」（29.9%）となっている。

【職業訓練・自己啓発を行った者の割合】



【職業訓練・自己啓発を受けた状況】

